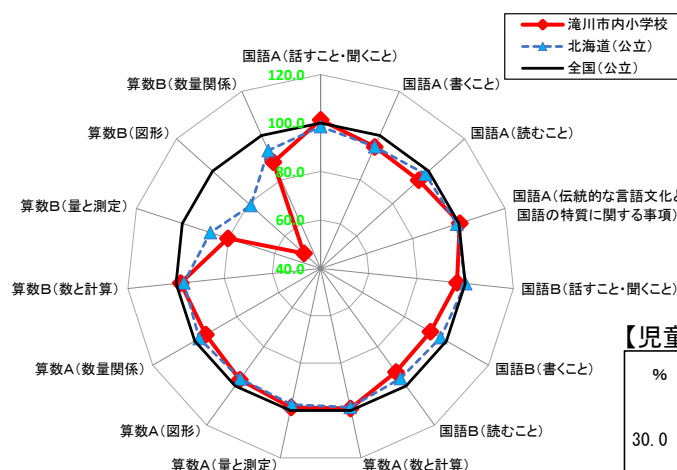


■ 滝川市内小学校の状況及び学力向上策(学校数:6校、児童数:274人)

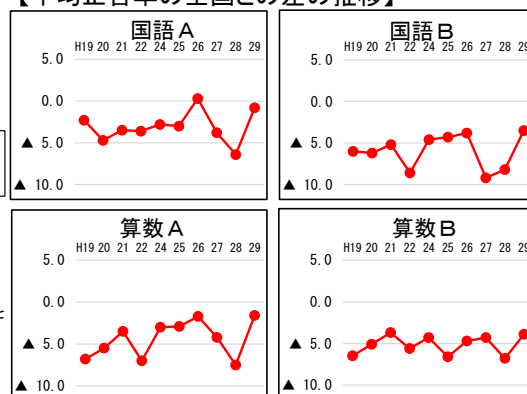
【教科全体の状況】

教科の領域別に全国を100とした場合の全道及び市町村の状況をレーダーチャートで示したもの

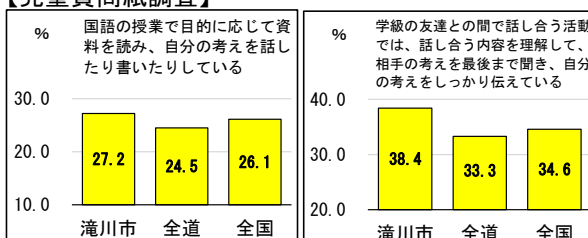
(市町村の平均正答率÷全国(公立)の平均正答率×100で算出)



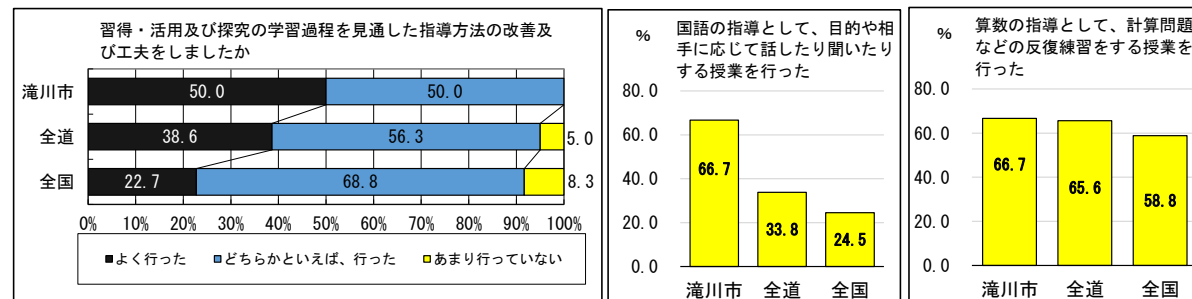
【平均正答率の全国との差の推移】



【児童質問紙調査】



【学校質問紙調査】



【分析】

教科	○ 国語Aでは、「話すこと・聞くこと」「伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項」で全国を上回っている。 ○ 算数Aでは、「数と計算」で全国に最も近くなっている。	○ 国語の指導として、目的や相手に応じて話したり聞いたりする授業をよく行った結果、国語の授業で目的に応じて資料を読み、自分の考えを話したり、書いたりする児童が増え、国語Aの「話すこと・聞くこと」「伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項」で全国を上回ったと考えられる。
児童質問紙	○ 「学級の友達との間で話し合う活動では、話し合う内容を理解して、相手の考えを最後まで聞き、自分の考えをしっかりと伝えている」と回答した児童の割合が、全国を上回っている。	○ 算数の指導として、計算問題などの反復練習をする授業をよく行った結果、基礎的・基本的な内容の確実な定着が図られるようになり、算数Aの「数と計算」で全国に最も近くなったと考えられる。
学校質問紙	○ 「国語の指導として、目的や相手に応じて話したり聞いたりする授業をよく行った」と回答した学校の割合が、全国及び全道を上回っている。 ○ 「算数の指導として、計算問題などの反復練習をする授業をよく行った」と回答した学校の割合が、全国及び全道を上回っている。	○ 習得・活用及び探究の学習過程を見通した指導方法の改善及び工夫や、本市独自の少人数学級実践事業によるきめ細かな指導を行った結果、すべての教科で全国の平均正答率との差が縮まったと考えられる。

【滝川市の学力向上策】

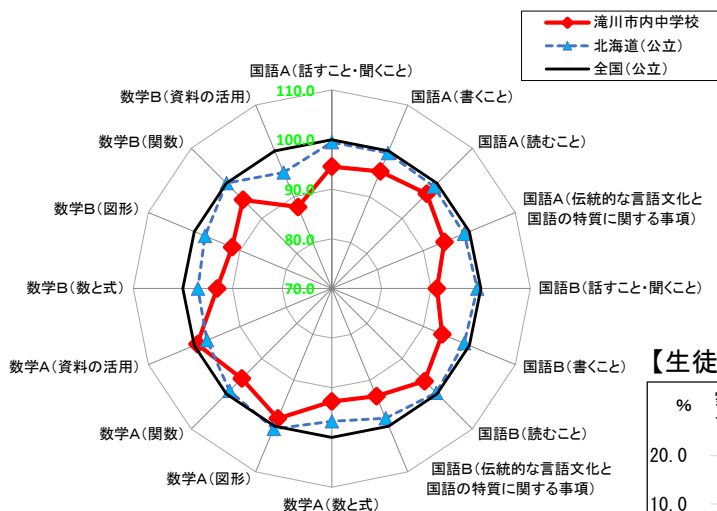
- ◎ 主体的・協働的に学習に取り組むアクティブ・ラーニング型授業の実践
- ◎ 本市独自の少人数学級実践事業によるきめ細かな指導・支援の充実
- ◎ 家庭学習の手引による保護者と連携した家庭における予習や復習の習慣化に向けた取組の推進
- ◎ 退職教員等外部人材活用事業や「学びサポーター」の戦略的配置による少人数指導体制の積極的な推進
- ◎ 道徳科授業の効果的な指導の検証に資する本市独自の「道徳教育推進事業」の継続実施
- ◎ 「特別支援学級支援員」や「学びサポーター」の配置による個に応じた指導と支援の充実
- ◎ 学校の課題研究の成果と教職員の指導実践の交流を図る滝川市教育振興会公開研究会の開催
- ◎ 図書館を活用した「調べるコンクール」等の実施による子どもの読書活動の推進
- ◎ 授業改善推進チーム活用事業を活用した学校間の取組の発信による積極的な授業改善の推進

■滝川市内中学校の状況及び学力向上策(学校数:4校、生徒数:300人)

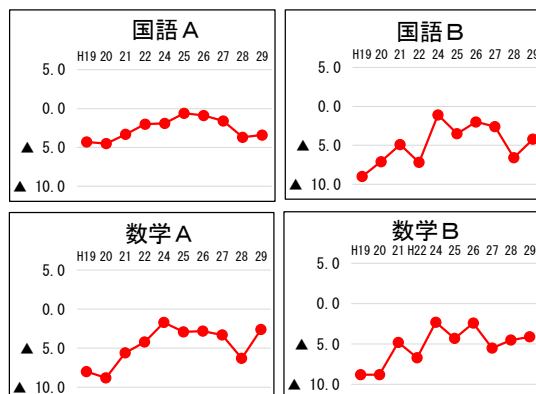
【教科全体の状況】

教科の領域別に全国を100とした場合の全道及び市町村の状況をレーダーチャートで示したもの

(市町村の平均正答率÷全国(公立)の平均正答率×100で算出)

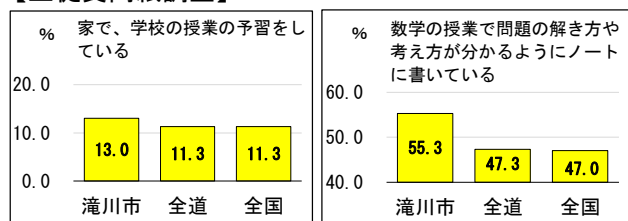


【平均正答率の全国との差の推移】

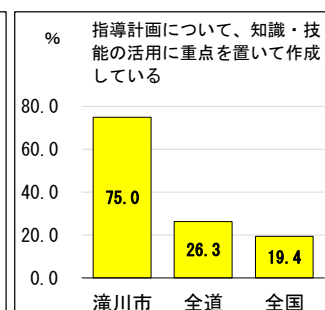
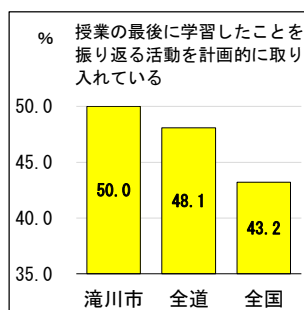
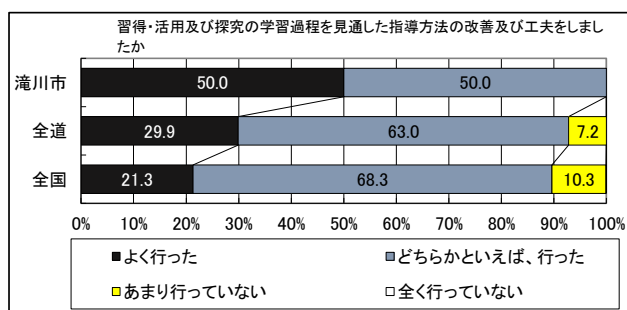


※「平均正答率－全国(公立)の平均正答率」の差の経年変化

【生徒質問紙調査】



【学校質問紙調査】



【分析】

教科	○ 国語Aでは、「読むこと」で全国に最も近くなっている。 ○ 数学Aでは、「資料の活用」で全国に最も近くなっている。	○ 授業の最後に学習したことを振り返る活動を計画的に取り入れた結果、学習内容の定着が図られるとともに、学習意欲が高まり、家で、学校の授業の予習をしている生徒の割合が全国及び全道を上回ったと考えられる。 ○ 知識・技能の活用に重点を置いて指導計画を作成するとともに、指導の充実を図った結果、数学の授業で問題の解き方や考え方が分かるようにノートに書いていると回答した生徒の割合が全国及び全道を上回ったと考えられる。
生徒質問紙	○ 「家で、学校の授業の予習をしている」と回答した生徒の割合が、全国及び全道を上回っている。	
学校質問紙	○ 「授業の最後に学習したことを振り返る活動を計画的に取り入れた」と回答した学校の割合が、全国及び全道を上回っている。	○ 習得・活用及び探究の学習過程を見通した指導方法の改善及び工夫や、本市独自の少人数数学級実践事業によるきめ細かな指導を行った結果、すべての教科で全国の平均正答率との差が縮まったと考えられる。

【滝川市の学力向上策】

- ◎ 主体的・協働的に学習に取り組むアクティブ・ラーニング型授業の実践
- ◎ 本市独自の少人数数学級実践事業によるきめ細かな指導・支援の充実
- ◎ 家庭学習の手引による保護者と連携した家庭における予習や復習の習慣化に向けた取組の推進
- ◎ 退職教員等外部人材活用事業や「学びサポーター」の戦略的配置による少人数指導体制の積極的な推進
- ◎ 道徳科授業の効果的な指導の検証に資する本市独自の「道徳教育推進事業」の継続実施
- ◎ 「特別支援学級支援員」や「学びサポーター」の配置による個に応じた指導と支援の充実
- ◎ 学校の課題研究の成果と教職員の指導実践の交流を図る滝川市教育振興会公開研究会の開催